

平成 3 0 年 度

事 業 報 告 書



社会福祉法人 朝倉市社会福祉協議会

目 次

平成30年度事業報告【社会福祉事業】

『総括』	1
(総務課)	
1. 独自財源	
(1) 法人運営事業	6
2. 補助事業	
(2) 法人運営管理事業	15
(3) 総合相談事業	15
3. 受託事業	
(4) 老人福祉センター指定管理事業	16
(5) 生活福祉資金貸付事業	16
(福祉課)	
1. 独自財源	
(1) 地域福祉活動計画推進事業	17
(2) 住民福祉事業 (P-UP 教室)	17
2. 補助事業	
(3) ふれあいのまちづくり事業	17
(4) 災害ボランティアセンター運営事業	17
3. 受託事業	
(5) 障害者移動支援事業	18
(6) 筋力トレーニング事業	18
(7) 健康づくりサポート事業	18
(8) 障害者地域生活支援事業	19
(9) 通所型介護予防普及啓発事業 (いきいき健康クラブ)	20
(10) 通所型介護予防普及啓発事業 (外出支援サービス)	20
(11) 地域ミニデイ推進事業	20
(12) 日常生活自立支援事業	21
(13) 日常生活自立支援基幹的社協事業	21
(14) 地域支え合いセンター事業	21
4. 共同募金事業	
(15) 老人福祉活動事業	22
(16) 障がい児者福祉活動事業	22
(17) 児童青少年福祉活動事業	22
(18) 福祉育成援助活動事業	22
5. その他の自主事業	22
6. 事業詳細 (参考資料)	23

平成30年度事業報告

社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、平成30年度の事業計画に基づき、福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保、関係機関・団体等との連携を十分に行いながら「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目指して、事業を遂行いたしました。平成30年度も引き続き、市内災害ボランティア活動を行い、市民の安心を確保するため、一般ボランティアとともに取り組みました。

平成30年7月には西日本豪雨災害が発生し、一昨年の本市の災害を彷彿させるような事態がありました。災害ボランティアセンターのスタッフとして職員を派遣、また朝倉市と連携し、広島県坂町へ災害ボランティアを派遣するボランティアバスを運行し、活動を行いました。このほか両筑地区社会福祉協議会で久留米市北野町への災害ボランティアセンタースタッフとして、職員派遣をしました。

平成30年2月に設置した地域支え合いセンターも一年を通じて、被災者支援に取り組みました。

事業経営の透明性を確保するためにホームページに情報公開内容を多く取り入れ、セキュリティ強化、フェイスブックを設置し、年齢層問わず社会福祉協議会への理解、周知に力を入れました。

【 重点項目 】

- 1 法人組織、事務局機能の強化
- 2 地区社会福祉協議会との連携強化
- 3 地域福祉活動計画の推進
- 4 機関紙「社協だより」の発行
- 5 共同募金配分金事業
- 6 福祉協力指定校事業
- 7 生活福祉資金等貸付事業
- 8 日常生活自立支援基幹的社協事業
- 9 日常生活自立支援事業
- 10 総合相談事業
- 11 地域生活支援事業
- 12 ボランティア活動の支援
- 13 介護予防・日常生活支援総合事業
- 14 P-UP教室事業
- 15 災害ボランティアセンターの運営
- 16 地域支え合いセンター事業

1 法人組織、事務局機能の強化

- (1) 理事会、評議員会ともに年3回開催しました。
- (2) 平成29年度九州北部豪雨以降の国会職員体制が不安定になり、職員個々に負担がかかっていました。このままでは、将来の法人運営に支障を来すため、平成30年度に職員体制を整える必要がありました。職員の定着率を高めるため、処遇等を見直し、就業規則等を改正しました。また、法人組織の安定を図り、建設的な意見が出せるよう、職員からの聞き取り等を行いました。このことにより、職員が自覚と責任、意欲を削ぐことなく、次年度に続くようにいたしました。
- (3) 平成29年度に延期していた福祉表彰式を2カ年分行い、多年にわたり地域福祉の増進に寄与された方や多額の寄附をされた方を表彰し、地域福祉全般の啓発に努めました。
- (4) 災害関連の視察、研修等の県内外から依頼が多く、平成30年度は、21回の『災害ボランティアセンターの取組や災害時の心構え』などを伝えました。災害から学ぶ知識、復興への取り組み等社会福祉協議会としての役割を求められていると改めて認識いたしました。

2 地区社会福祉協議会との連携強化

地区社会福祉協議会連絡会は14地区で構成され、月1回（第2火曜日）に開催していますが、7月は西日本豪雨災害により、県内被災地の状況把握や災害ボランティアセンターの運営スタッフ等として職員を派遣したため、中止としました。

連絡会では地域福祉活動状況や情報交換を行うなど、本会との連携強化を図り、地域福祉の推進に努めました。

3 地域福祉活動計画の推進

平成25年度に策定した「朝倉市地域福祉活動計画（継続版）」は、平成26年から平成30年までの5年間を計画期間とし推進してきました。「朝倉市地域福祉活動計画（継続版）」の推進状況を踏まえ、地区社会福祉協議会からのヒアリングにより「第2期朝倉市地域福祉活動計画」を作成しました。

4 機関紙「社協だより」の発行

機関紙である「社協だより」を年6回（奇数月）発行し、本会の事務・事業等について、詳細に周知し啓発に努めるとともに、ホームページについても情報を更新しながら引き続き運用を行いました。

また、香典返し等のご寄附のお礼などを「社協だより」に掲載しました。

5 共同募金配分金事業

地域福祉活動推進のための共同募金配分金事業として、①高齢者福祉活動、②障害児者福祉活動、③児童・青少年福祉活動、④福祉育成援助活動を行いました。

高齢者福祉活動として「ほのぼの配食・会食事業」、「ふれあい・いきいきサロン」をはじめ、障害児者福祉活動として「交流ボランティアワーク」や「交流クリスマス会」、児童青少年福祉活動として「小中高校生ボランティアスクール（夏休み手話講座）や小学校3年生へ福祉の心を育む福祉教育教材「ともに生きる」の配布、福祉育成援助活動として「社協だよりの発行」、「ボランティア育成事業」などを行いました。

6 福祉協力指定校事業

市内の小・中・高等学校と連携し、福祉教育の研究、実践を通じて児童及び生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育成することに努めました。

また、福祉協力指定校が実践していることを地域に反映できるように市内17の小・中・高等学校に支援を行いました。

7 生活福祉資金等貸付事業

福岡県社会福祉協議会の窓口事業として、本会が受付窓口となり、低所得世帯等を対象に低利子又は無利子で生活福祉資金等の貸付を行いました。

また、福岡県社会福祉協議会及び民生委員・児童委員との連携を強化し、償還の指導や生活援助を通じて世帯の安定と自立の支援に努めました。

8 日常生活自立支援基幹的社協事業

平成27年9月から、福岡県社会福祉協議会から委託を受けて事業を開始しました。両筑地区社会福祉協議会（朝倉市、小郡市、うきは市、大刀洗町、筑前町、東峰村）を対象に、基幹的社協として日常生活自立支援事業を実施しました。

9 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づいて、認知症や知的障がい、精神障がい等で判断能力が十分でない方の権利を擁護するため、地域において自立した生活を送られるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行い、支援することに努めました。

10 総合相談事業

相談事業は、心配ごと相談を毎月第2・第4火曜日に本所で、毎月第1・第3火曜日に朝倉支所で、毎月第2・第4水曜日に杷木支所で実施しました。法律相談については、弁護士による相談を月2回、司法書士による相談を月1回本所で実施し、相談者に対し適切な助言と援助を行いました。

11 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づいて、障がい児、障がい者が持っている能力に応じて、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、①奉仕員養成研修事業 ②点字・声の広報等発行事業 ③生活訓練等事業 ④自発的活動支援事業 ⑤意思疎通支援事業 ⑥移送サービス事業を行いました。

12 ボランティア活動の支援

ボランティア活動に係る情報を提供するとともに、活動のきっかけづくりや相談・支援、情報提供などの事業を推進しました。

市民を対象とした傾聴ボランティア講座（2回）や認知症講座、布の絵本制作講座、福祉ボランティア団体代表者会を開催し人材の発掘と育成に努めるとともに、ボランティア活動の支援を行いました。本会主催で実施しています「朝倉市住民福祉ボランティアのつどい」につきましては、10月6日に開催予定でしたが、台風の接近により被害の発生が予測されたため中止としました。

13 介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防事業として市から委託を受け、地域ミニデイ推進事業（ふれあい・いきいきサロン）、通所型介護予防普及啓発事業（いきいき健康クラブ）、高齢者筋力トレーニング事業、健康づくりサポート教室を積極的に実施し、介護予防及び健康管理・維持の推進に努めました。地域ミニデイ推進事業（ふれあい・いきいきサロン）は、九州北部豪雨の被災によりやむなく登録の取り下げをしなければならないサロンがありました。筋力トレーニング事業は、特に申込が多く、市民の介護予防に対する意識が高くなっています。

14 P-UP教室事業

高校生以上64歳以下の方を対象にして、トレーニング機器を使って体力の維持向上や疾病予防等を目的として、健康な生活が送られるように支援を行いました。

15 災害ボランティアセンターの活動

平成29年7月の九州北部豪雨発生から約2年を迎えようとしている中での、ボランティア活動は、ほぼ終息している状況となっています。

昨年7月に発生した西日本豪雨災害は広範な地域に甚大な被害をもたらしました。本会は、被災地である久留米市や広島県坂町の災害ボランティアセンターへ運営スタッフを派遣しました。また、広島県内の各ボランティアセンターで資機材が不足しているとの連絡を受け、広島県社協へ青年会議所の協力を受け運搬しました。

16 地域支え合いセンター事業

朝倉市からの委託を受け、九州北部豪雨で被災された方々が安心した日常生活を取り戻し、自立した生活再建ができるよう、相談・声かけなどの見守りや地域交流促進支援、及び公的支援（行政や福祉サービスなど専門機関による支援）へのつなぎを行いました。

地域支え合いセンターが発足して1年が経過しましたが、訪問対象世帯件数1,082件の内、自宅を修繕・新築したなどにより支援最終が335件となっています。引き続き、訪問活動を行い適切な支援を行っていきます。

平成30年度 事業報告

社会福祉事業

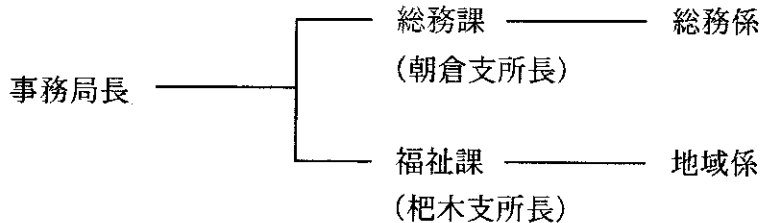
【総務課】

1. 独自財源

(1) 法人運営事業

ア 組織運営事業

(ア) 事務局組織図 (平成31年3月31日)



(イ) 会議の開催状況

A 理事会

第1回 (平成30年6月5日 保健福祉センター 第6学習室)

議案番号	件名	結果
報告第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第5次)の専決処分について	同意
議案第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会理事の選任について	議決
議案第2号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について	議決
議案第3号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について	議決
議案第4号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定居宅介護事業所朝倉ヘルパーステーション運営規程の廃止について	議決
議案第5号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度事業報告について	承認
議案第6号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度決算について	承認
議案第7号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について	議決
議案第8号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員会の招集について	議決

第2回 (平成30年9月14日 保健福祉センター 第6学習室)

議案番号	件名	結果
報告第2号	市外の災害時におけるボランティア活動に関する協定について	承認
報告第3号	社会福祉協議会会長職務執行状況報告について	承認
議案第9号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度補正予算(第1次)について	議決
議案第10号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について	議決
議案第11号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会印管理規程の一部改正について	議決

第3回(平成31年3月14日 保健福祉センター 第6学習室)

議案番号	件名	結果
報告第4号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会招集の専決処分について	承認
報告第5号	社会福祉協議会会長職務執行状況報告について	承認
議案第12号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度第2次補正予算(案)について	同意
議案第13号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款の一部改正について	議決
議案第14号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会役員及び評議員選出規程の一部改正について	議決
議案第15号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会就業規則の一部改正について	議決
議案第16号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について	議決
議案第17号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について	議決
議案第18号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について	議決
議案第19号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定年退職者再雇用規程の廃止について	議決
議案第20号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定年再雇用職員就業規則の設置について	議決
議案第21号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度事業計画(案)について	同意
議案第22号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度当初予算(案)について	同意
議案第23号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会第3回評議員会の招集について	議決

B 評議員会

定時評議員会(平成30年6月21日 保健福祉センター 第7学習室)

議案番号	件名	結果
報告第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第5次)の専決処分について	承認
議案第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会理事の選任について	議決
議案第2号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定居宅介護事業所朝倉ヘルパーステーション運営規程の廃止について	議決
議案第3号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度事業報告について	承認
議案第4号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度決算について	承認

第2回評議員会(平成30年9月25日 保健福祉センター 第7学習室)

議案番号	件名	結果
報告第2号	市外の災害時におけるボランティア活動に関する協定について	承認
議案第5号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度補正予算(第1次)について	承認
議案第6号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について	議決
議案第7号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会印管理規程の一部改正について	議決

第3回評議員会(平成31年3月28日 保健福祉センター 第7学習室)

議案番号	件名	結果
議案第8号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度第2次補正予算(案)について	承認
議案第9号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款の一部改正について	議決
議案第10号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会役員及び評議員選出規程の一部改正について	議決
議案第11号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会就業規則の一部改正について	議決
議案第12号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について	議決
議案第13号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について	議決
議案第14号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について	議決
議案第15号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定年退職者再雇用規程の廃止について	議決
議案第16号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定年再雇用職員就業規則の設置について	議決
議案第17号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度事業計画(案)について	承認
議案第18号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度当初予算(案)について	承認

C 三役会(保健福祉センター ボランティアステーション)

区分	実施日	内容
第1回	5月28日	①理事会・評議員会提出議案について ②理事会・評議員会報告事項について
第2回	9月4日	①理事会・評議員会提出議案について ②理事会・評議員会報告事項について
第3回	11月13日	①今後の会議開催予定について ②理事・評議員の枠及び定数について
第4回	平成31年 3月18日	①理事会・評議員会提出議案について ②理事会・評議員会報告事項

D 監査(保健福祉センター ワークステーション)

区分	実施日	内容
監事監査	5月24日	平成29年度事業報告及び決算監査

E 広報委員会(保健福祉センター ボランティアステーション)

区分	実施日	内 容
第1回	4月3日	平成30年5月15日 第1号 NO.55号の校正について
第2回	4月16日	平成30年5月15日 第1号 NO.55号の校正確認について
第3回	6月5日	平成30年7月15日 第2号 NO.56号の校正について
第4回	6月15日	平成30年7月15日 第2号 NO.56号の校正確認について
第5回	8月6日	平成30年9月15日 第3号 NO.57号の校正について
第6回	8月16日	平成30年9月15日 第3号 NO.57号の校正確認について
第7回	10月5日	平成30年11月15日 第4号 NO.58号の校正について
第8回	10月17日	平成30年11月15日 第4号 NO.58号の校正確認について
第9回	12月7日	平成31年1月15日 第5号 NO.59号の校正について
第10回	12月14日	平成31年1月15日 第5号 NO.59号の校正確認について
第11回	2月5日	平成31年3月15日 第6号 NO.60号の校正について
第12回	2月18日	平成31年3月15日 第6号 NO.60号の校正確認について

F 表彰審査会

区分	実施日	内 容
第1回	9月4日	平成30年10月16日開催 福祉表彰式の受賞者の選定について

G 評議員選任・解任委員会

区分	実施日	内 容
第1回	6月6日	①評議員の解任について ②評議員の選任について

(ウ) 連絡・調整等

区 分	実施日等	内 容
地区社協連絡会	毎月第2火曜日	社協事業(行事等)のお知らせ、地域福祉活動計画
		共同募金会朝倉市支会(募金活動・事業説明等)
		ほのぼの配食会食サービスボランティア情報交換会
両筑地区社会福祉協議会連絡会	通年	代表者会4/25、全体研修会6/2、地域福祉活動部会1/11
身体障がい者福祉協会	4月28日	総会4/28、ふれあい集会12/9
視覚障がい者福祉協会	4月22日	総会4/22、虹の会との交流会7/10
民生委員・児童委員協議会	4月26日	総会4/26、定例会7/5、甘木地区8/9、甘木・立石・馬田地区説明会8/23
ボランティア連絡協議会	5月19日	総会
老人クラブ連合会	5月30日	総会
母子寡婦福祉会	6月10日	総会
慰霊祭	7月5日	平成29年度九州北部豪雨災害の犠牲者の方への慰霊祭(サンライズ杷木)
朝倉地区企業内同和問題推進協議会	7月9日	定期総会
人権同和問題推進協議会	7月2日	街頭啓発7/2、社会教育部会
朝倉同和地区雇用促進協議会	10月29日	研修会
卑弥呼の湯業務改善委員会	7月30日	
県南地区社会福祉協議会	8月2日	8/2、1/18 幹事:大木町社協
介護保険運営協議会	8月6日	
共同募金会	通年	理事会・評議員会8/8
福岡県社会福祉協議会	通年	会長・常務理事・事務局長研修会8/20、九州ブロック地域福祉研究会9/5.6
朝倉市(復興推進室)	月1回	地域支え合いセンター主任会議、個別ケース検討会議
朝倉市	9月22日	戦没者追悼式
朝倉市	10月5日	まちづくり審議会
朝倉市	1月16日	見守りネットワーク協議会
朝倉市	2月20日	復興推進委員会(社協・地域支え合いセンター)
十市一町社協連絡協議会	8月24日	幹事:福津市
自立支援協議会 運営部会	8月30日	
市内小中学校・高校	通年	福祉協力指定校、赤い羽根共同募金
朝倉青年会議所	通年	災害協定により、協力体制をとっている。

(エ) 寄附金

一般寄附	15件	3,459,038円	
香典返し	338件	4,719,500円	合計8,178,538円

(災害ボランティアセンターへの災害支援金 16件 1,650,539円)

(オ) マイクロバス運行

拠出件数

一般	41件
サロン	65件

イ 調査・研究事業

(ア)朝倉市地区社会福祉協議会

実施日	内 容 等
5月19日	朝倉市生活支援整備事業市民説明会 朝倉市介護サービス課
6月19日	地区社協事務取扱助成事業にかかる担当者研修会
5月23日	ふれあい・いきいきサロン研修会
5月28日	
8月8日	赤い羽根共同募金の概況と知識について 講師:福岡県共同募金会
9月12日	福祉ボランティア団体 代表者会 福祉講話 「365日をこころ豊かに」～いきいき暮らすためのボランティア～ 講師:西九州大学 健康福祉学科 社会福祉学科 学科長 滝口 真氏
8月28日	「ほのぼの配食・会食サービス」ボランティア情報交換会 講師:NPO法人栄養ケア・ちっご 管理栄養士 白石 雅子氏
10月22日	福岡県社会福祉大会 記念講演「大規模災害に備えて～今、私たちができること～」 認定NPO法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之氏
10月31日	第2期地域福祉活動計画」進捗年次計画表提出
12月11日	日常生活自立支援基幹的社協事業について 担当:赤崎職員 日常生活自立支援事業について 担当:奥村職員
1月15日	通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)について 担当:日野主任指導員
2月12日	介護予防ポイントについて 担当:朝倉市 介護サービス課 小松係長 地域支え合いセンター活動状況について 担当:高倉センター長
3月19日	小石原川ダム工事現場見学会

(イ)会長・常務理事・事務局長研修会

福岡県社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長研修会、両筑地区社会福祉協議会
連絡会、10市1町社協連絡協議会、県南地区社協連絡協議会
共同募金会朝倉市支会

(ウ)職員研修

防火管理講習、安全運転管理者講習、社会福祉士実習指導講習、いきいき健康クラブ
指導員向け体力の向上・健康増進講習、九州ブロック地域福祉研究会議
第2層「生活支援コーディネーター協議体」講習、生活福祉資金貸付事業研修
新入職員研修、人権同和研修

ウ 普及宣伝事業

(ア) 広報活動

広報紙「社協だより」発行

発行日等	内 容
第55号 (5月15日)	①朝倉市地域支え合いセンター担当紹介 ②平成30年度事業計画・予算の概要 ③ふれあい・いきいきサロンだより ④共同募金の使い道 ⑤寄附者一覧 ⑥福祉ボランティア講座年間予定
第56号 (7月15日)	①いきいき健康クラブ会員募集 ②平成29年度事業報告・決算の概要 ③ふれあい・いきいきサロンだより ④サロン研修会お知らせ、バス寄贈報告 ⑤寄附者一覧、災害ボランティアセンターご相談 ⑥初めての点訳講座、ボランティア募集
第57号 (9月15日)	①車いすバスケット、夏休み手話講座 ②共同募金運動開始 ③ふれあい・いきいきサロンだより ④手話奉仕員養成講座 ⑤寄附者一覧、広島県等への資材送付、地域支え合いセンターご相談 ⑥朝倉市住民福祉ボランティアのつどい
第58号 (11月15日)	①福祉表彰式 ②表彰者紹介、共同募金運動展開中 ③ふれあい・いきいきサロンだより ④職員募集 ⑤寄附者一覧、生活支援員養成研修会お知らせ ⑥認知症講座、交流クリスマス会お知らせ
第59号 (1月15日)	①福祉体験学習 ②新年のご挨拶、車いす寄贈、地域支え合いセンターお知らせ ③、④ふれあい・いきいきサロンだより ⑤寄附者一覧、福祉体験学習 ⑥「朗読会」、車いすバトミントン講習会
第60号 (3月15日)	①赤い羽根キャッチフレーズ表彰紹介 ②赤い羽根共同募金お礼 ③ふれあい・いきいきサロンだより ④16歳からの筋トレ(P-UP教室)参加者募集 ⑤寄附者一覧 ⑥交流クリスマス会、手話講座

エ その他の事業

援助技術実習の受入れ

福祉人材の育成に寄与することを目的として、社会福祉士を目指す学生に資格取得のための実習を実施、受入れした。

実施期間：平成30年11月26日(月)から平成30年12月25日(火)

実習人数：1名(大原保育医療福祉専門学校)

【平成30年度 災害ボランティア関係 視察等受入一覧】

日時	対象団体	人数	会場	内容
H30.5.14(月) 9:45 ～11:00	鳥栖市基里地区民生 委員児童委員協議会	17	ビーポート 第6学習室	・災害から学ぶボランティアとの関わりと対応について 【災害の状況、災害VC運営、 支え合いセンターについて】
H30.5.25(金) 14:00 ～15:30	長与町消防団 長与町社協	18	杷木支所	・平成29年九州北部豪雨での対応 【災害の状況、災害VC運営】 ・現場見学(松末)
H30.6.2(土) 14:00～ (うち15分)	両筑地区社協連絡会 全体研修会	94	うきは市社協	・災害VC運営について
H30.7.27(金) 10:00 ～10:30	杉森高校(柳川)	57	甘木歴史資料館	・災害の状況 ・復興の取り組みと今後の課題 ・私たちが常に心掛けておくこと 【災害の現状、災害VC運営、支え合いセンター】
H30.9.6(木)	九州ブロッコ地域福祉研 究会議	55	ヒルトン福岡 シーホーク	・第5分科会「災害支援における多機関協働」 【災VCの立ち上げの動き、コミュニティマッ チング方式、地域支え合いセンター(連携・ 協働)】
H30.9.17(月祝) 14:10 ～15:35	FUKUOKAコンファレンス 2018 (日本青年会議所九州 地区福岡ブロッコ協議 会)	50	サンライズ杷木	・防災シンポジウム 【災害VCにおけるJCとの連携について】
H30.10.1(月) 10:30 ～12:00	宗像市社協 日の里地区福祉会・ 福祉員・民生委員	30	杷木支所	・災害の状況と現状 ・支え合いセンターの取り組み ・地域の支え合い活動 ・現場見学
H30.10.11(木) 15:30 ～16:30	糸島市女性防火クラ ブ連絡協議会	30	ビーポート甘木 第3学習室	・災害VC運営について ・ボランティア活動などの状況 ・災害ボランティア活動へ行く前の心構え
H30.10.15(月) 10:30 ～11:30	宮若市民生委員	57	ビーポート甘木 第4・5学習室	・災害VC運営について

日時	対象団体	人数	会場	内容
H30.10.20 (土) 10:10 ～12:00	諫早市市民災害ボランティア講座	74	諫早市社会福祉会館 多目的ホール	・災害VCの役割及び活動内容 【ボランティアの関わりや運営（具体的な1日の流れ）】 ・災害ボランティアの活動及び心構え 【被災地に行く時の準備・心構えや災害ボランティア活動における留意事項】
H30.10.23(火) 10:00 ～11:00	宮若市社協 ボランティア 連絡協議会	14	ビーポート甘木 第3学習室	・災害VC運営について ・ボランティアとしての関わり (内堀会長より)
H30.10.24 (水) 10:30 ～12:00	大牟田市主任児童委員	26	ビーポート甘木 視聴覚室	・災害の状況 ・災害VCの運営、地域住民との連携（コミュニティマッチングなど） ・復興に向けた取り組み、課題
H30.10.25(木) 10:30 ～12:00	福岡市博多区那珂校区民生委員	33	杷木支所	・災害VCの動き ・今後の課題
H30.11.7(水) 14:00 ～16:00	山鹿市鹿央町自治会・山鹿市社協	20	杷木支所	・災害VC運営について ・支え合いセンターについて ・現場見学
H30.11.12 (月) 10:00 ～11:00	大野城市災害ボランティアグループ・大野城市社協	12	ビーポート甘木 第1学習室	・災害の状況と現在の状況
H30.11.22 (木) 10:30 ～12:00	福岡市西区 姪北校区社協	27	杷木支所	・災害の現状と現在の状況 ・災害VC運営について ・現場見学
H30.11.28 (水) 14:00 ～15:30	佐世保市社協	130	相浦地区公民館 多目的ホール	・災害VCの役割及び活動内容 【ボランティアの関わりや運営（具体的な1日の流れ）】 ・災害ボランティアの活動及び心構え 【被災地に行く時の準備・心構えや災害ボランティア活動における留意事項】
H30.12.4 (火) 10:30 ～12:00	諫早市真津山地区民生児童委員協議会	26	ビーポート甘木 第7学習室	・災害VC運営について
H31.1.23 (水) 14:00 ～16:30 (うち90分)	福岡地区ブロック社協	22	加ハブプラザ	・災害ボランティア設置前の社協の役割や動き ・朝倉市災害ボランティアでの流れ ・災害ボランティア閉所後の社協の役割
H31.2.8 (金) 10:00 ～16:40 (うち30分)	市区町村社協災害ボランティアセンター運営者研修	44	加ハブプラザ	・災害VC運営を踏まえて
H31.2.19 (火) 10:20 ～11:50	久留米市金丸地区女性学級	17	ビーポート甘木 視聴覚室	・豪雨災害の実態と対応の概要 ・ボランティア活動の教訓等

2. 補助事業

(2) 法人運営管理事業

本会職員のうち、特定の事業を除く職員6名・嘱託4名の人件費・福利厚生費

(3) 相談事業

総合相談・・・心配ごと相談、法律相談、（司法書士相談、人権相談）

【心配ごと相談】

甘木・・・開催24回	相談22件	
朝倉・・・開催22回	相談9件	
杷木・・・開催24回	相談5件	相談件数計 36件

相談内容・・・生計15件、年金3件、住宅4件、家族3件、離婚1件
医療2件、財産3件、苦情1件、その他4件

【法律相談】

開催23回 相談73件

【司法書士相談】

開催10回 相談26件

3. 受託事業

(4) 老人福祉センター指定管理事業

5年間の指定管理契約（H27年度～H31年度）

【訓練】

- ・年2回（11月総合訓練・3月通報）

*朝倉老人福祉センター 来館者数 10,875名

（災害ボランティアセンター関係0人）

【本会利用事業】

- ・いきいき健康クラブ
- ・筋力向上トレーニング
- ・健康づくりサポート教室
- ・P-UP教室
- ・心配ごと相談
- ・人権相談
- ・地域支え合いセンター甘木及び朝倉

*杷木老人福祉センター 来館者数 2,890名

（災害ボランティアセンター関係106人含む）

【本会利用事業】

- ・いきいき健康クラブ
- ・心配ごと相談
- ・人権相談
- ・行政・消費生活相談
- ・地域支え合いセンター杷木

(5) 生活福祉資金貸付相談事業

【相談件数】 73件

【貸付件数】

・緊急小口資金	11件	918,000円	
・教育支援資金	5件	10,460,000円	
・福祉費	5件	3,268,000円	
計	21件	14,646,000円	以上

【生活福祉資金貸付調査委員会】

開催なし（審査期間が限られたため、委員会開催する暇がなかった）

【 福 祉 課 】

1. 独自財源

(1) 地域福祉活動計画推進事業

平成25年度に策定しました「朝倉市地域福祉活動計画（継続版）」は、平成26年から平成30年までの5年間の計画期間として推進してきました。この「朝倉市地域福祉活動計画（継続版）」の推進状況を踏まえ、地区社会福祉協議会からのヒアリングを行い、「第2期朝倉市地域福祉活動計画（令和元年度から令和5年度）までの5年間」を作成しました。

(2) 住民福祉事業（P-UP教室事業）

朝倉市内在住の64歳以下を対象として、トレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、疾病の予防やメタボリックシンドロームの改善等、健康で活動的な生活を営むことを目的として実施しました。

	平成30年度	平成29年度	増 減	前年度対比
利用者（実数）	117名	138名	△21名	85%
利用者（延数）	583名	737名	△154名	79%

2. 補助事業

(3) ふれあいのまちづくり事業

高齢者、障がい児及び障がい者等の保健福祉の増進と市民の地域福祉活動の推進を図るために、地区社会福祉協議会が主体となって実施する小地域ネットワーク事業、ほのぼの配食・会食事業、及びボランティア育成事業への支援を行いました。また、市民の総合相談所として、弁護士、民生委員児童委員協議会、各専門士会等の協力を得て総合相談事業を実施しました。

(4) 災害ボランティアセンター運営事業

- 平成30年度は、朝倉市で災害ボランティアセンターを設置運営は行いませんでした。
- 平成29年10月29日の朝倉市災害ボランティアセンター閉所後、継続ニーズや新規ニーズに対して、平成30年度もボランティア活動支援を継続して実施しました。

平成30年4月～平成31年3月まで

新規依頼件数 16件、活動件数 19件、延べ活動者数 161名

- 市外被災地支援活動（市外災害ボランティア運営支援）

① 広島県坂町災害たすけあいセンター（災害ボランティアセンター）

平成30年7月28日（土）～8月2日（木）までの計5日間 職員1名

② 久留米市災害ボランティアセンター

平成30年7月11日（水）～7月17日（火）までの計5日間 職員9名

○市外被災地災害復旧支援ボランティア活動

広島県安芸郡坂町 小屋浦地区

平成30年8月 4日(土) 職員2名、市職員15名

平成30年9月 8日(土) 雨天のため中止

平成30年9月22日(土) 一般ボランティア15名、職員2名、市職員2名

3. 受託事業

(5) 障害者移動支援事業

外出が困難な重度の視覚障がい者、身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者に対し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加を目的として外出の際の移動支援事業を実施しました。

利用回数・・・31回 利用者数・・・21名

利用時間・・・105時間

	平成30年度	平成29年度	増 減	前年度対比
利用回数	31回	21回	+10回	148%
利用者数(延数)	21名	16名	+5名	131%
利用時間	105時間	76時間	+29時間	138%

(6) 筋力トレーニング事業

高齢者(65歳以上)の方を対象に、トレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持及び向上を図り、3か月間(計24回)実施し、介護予防・健康支援を目的として実施しました。

毎週火曜日と金曜日(週2回) 3か月間で24回の事業(1クール)として実施。

登録者数・・・48名 (12名/1クール平均)

年間利用者・・・951名 (延利用者数)

	平成30年度	平成29年度	増減	前年度対比
登録者数	48名	48名	±0名	0%
利用者(延数)	951名	825名	+126名	115%

(7) 健康づくりサポート事業

筋力トレーニング事業を修了された方を対象として、継続的にトレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持向上を目的として実施しました。

利用者の方が増えてきている状況にあるため、平成31年度からは水曜日の午前中を新たに開設し対応しています。

	平成30年度	平成29年度	増減	前年度対比
利用者(実数)	723名	650名	+73名	111%
利用者(延数)	2,954名	2,468名	+486名	120%

(8) 障害者地域生活支援事業

障がい児及び障がい者にとって、もっとも身近な市町村において、ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、障がい者のニーズに合った事業を実施することにより、自立と社会参加ができることを目的として実施しました。

(9) 通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)

高齢者(65歳以上)の方を対象に、介護予防を中心とした生きがい対策の取り組みとして、健康体操や栄養改善及び口腔機能などを柱として、レクリエーションや季節の行事などを通じて、楽しみながら心と体を元気にし、いつまでも自宅で健康に生活ができることを目的として実施しました。

甘木地区	・・・433回	利用者数	・・・7,472名(1回平均 17名)
朝倉地区	・・・145回	利用者数	・・・1,657名(1回平均 11名)
杷木地区	・・・97回	利用者数	・・・1,213名(1回平均 13名)
合計	・・・675回	合計	・・・10,342名(1回平均 15名)

(10) 通所型介護予防普及啓発事業(外出支援サービス)

通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)を行う会場への送迎を行うことを目的として実施しました。なお、朝倉地区はコミュニティバスを利用しています。

甘木地区	・・・433回	利用者数	・・・7,063名(1回平均 16名)
杷木地区	・・・97回	利用者数	・・・1,143名(1回平均 12名)
地域送迎	・・・58回	利用者数	・・・891名(1回平均 15名)
合計	・・・588回	合計	・・・9,097名(1回平均 16名)

(11) 地域ミニデイ推進事業(ふれあい・いきいきサロン)

家に閉じこもりがちな高齢者等に対して、自治公民館などで「ふれあい・いきいきサロン」の開催を積極的に推進するとともに、レクリエーション、健康体操や趣味活動を支援し、介護予防と地域における福祉コミュニティの推進に努めました。

	平成30年度	平成29年度	増減	前年度対比
登録個所数	120か所	122か所	△2所	98%
実施開催数	1,158回	956回	202回	121%
参加者数	16,665名	15,642名	1,023名	106%

(12) 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づき、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人の権利を擁護することを目的として、地域において自立した生活が送れるよう支援計画に基づき、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の事業を行いました。

	認 知	知 的	精 神	合 計
件 数	17	5	3	25

(13) 日常生活自立支援基幹的社協事業

日常生活自立支援基幹的社協事業は、平成27年9月より、福岡県社会福祉協議会から委託を受け事業を開始しました。両筑地区社会福祉協議会（朝倉市、小郡市、うきは市、大刀洗町、筑前町、東峰村）を対象として基幹社協としての事業を行いました。（相談 → 訪問調査 → 支援計画作成 → 契約 → モニタリング）

	朝倉市	小郡市	うきは市	筑前町	大刀洗町	東峰村	合 計
件数	25	23	0	6	9	0	63

(14) 地域支え合いセンター運営事業

朝倉市からの委託を受け、九州北部豪雨で被災された方々が安心した日常生活を取り戻し、自立した生活再建ができるよう、相談・声かけなどの見守りや地域交流促進支援、及び公的支援（行政や福祉サービスなど専門機関による支援）へのつなぎを行いました。地域支え合いセンターが発足して1年が経過しましたが、訪問対象世帯件数1,082件の支援判定区分は、次の通りです。 (件)

A	B	C	D	E	X	
重点	継続支援	定期見守り	経過観察 (2か月)	経過観察 (3か月)	終結	判定数
0	1	21	151	574	335	1,082

4. 共同募金配分金事業

(15) 老人福祉活動事業

ネットワーク事業の一環として、市内14地区社協を活動拠点に在宅高齢者へ安否確認を兼ねた手作りの弁当配達等の経費助成や市内120か所及び新規開所した「ふれあい・いきいきサロン」への活動助成を行いました。また、朝倉市老人クラブ連合会への活動助成を行いました。

(16) 障がい児者福祉活動事業

市民と障がい児者の方に車いす体験等の交流を行い、障がいについての学習や活動への推進を図ることを目的として、「車いすバスケット講習会」及び「車いすバドミントン講習会」を行うとともに、地域との交流が少ない在宅の障がい児者や保護者と地域住民やボランティアとの交流を深めることにより、障がいへの理解と福祉の向上を目的として交流クリスマス会を行いました。また、朝倉市身体障がい者福祉協会への活動助成を行いました。

(17) 児童青少年福祉活動事業

市内の小・中・高校生を対象に「夏休み手話講座」を開催し、聴覚障がい者の方とふれあうことで障がいについて学ぶことと市内の小・中・高校を対象にボランティア活動や福祉体験を実施するための活動助成を行いました。また、朝倉市母子父子寡婦福祉会への活動助成を行いました。

(18) 福祉育成援助活動事業

- 「社協だより」を年6回（全戸配布）するための一部費用
- 福祉新聞・月間福祉などの購入に係る費用
- 疑似体験用具・車いす・点字版等の購入・修繕に係る費用
- 「朝倉市住民福祉ボランティアのつどい」開催に係る費用
- 市民を対象に福祉、レクリエーション等の各種ボランティア講座を開催し、ボランティアの育成を行うために係る費用
- 朝倉市ボランティア連絡協議会・朝倉市保護司会への活動助成
- 市内14地区社会福祉協議会への活動助成及び事務事業に係る活動助成

5. その他の自主事業

その他の事業として、福祉体験学習や福祉機器等の貸出を実施しました。

○福祉体験学習の実施

小・中・高等学校・専門学校・その他の団体に対して、車いす・アイマスクなどのハンディキャップを体験しながら学習を行う。ゲストティーチャーの斡旋などを行いました。

内 容： 車いす体験
アイマスク体験
手話学習
点字学習
高齢者疑似体験
福祉講話等

合 計： 13校 15回

○福祉機器等の貸出の実施

福祉機器を必要とする方に福祉機器等の貸出を行う事業。

甘木本所： 53件

朝倉支所： 9件

杷木支所： 10件

合 計： 72件

事業詳細(参考資料)



社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会

平成30年度 P-UP 教室事業報告書

1. (目的)

朝倉市内在住の64歳以下の方を対象とし、利用者が健康や運動について、早い時期から関心をもち疾病の予防、メタボリックシンドロームの改善等、健康で活動的な生活が送れるよう支援することを目的としています。

2. (事業内容)

エルゴメーター4台、トレッドミル4台、筋力トレーニングマシン5台等を使用し、個々人の疾患や目的に合わせた運動プログラムを作成して、実地指導を行いました。

3. (場所)

朝倉市朝倉老人福祉センター内

4. (開催日時)

毎週月曜日 18時～21時、毎週火曜日、金曜日 9時～12時
毎週木曜日 9時～12時30分、13時30分～17時、18時～21時

5. (登録者・利用人数)

	利用実人数			利用総人数		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
4月	0	4	4	0	18	18
夜間	0	6	6	0	46	46
5月	0	5	5	0	17	17
夜間	0	5	5	0	37	37
6月	0	5	5	0	14	14
夜間	0	4	4	0	26	26
7月	0	2	2	0	8	8
夜間	0	7	7	0	39	39
8月	0	2	2	0	10	10
夜間	0	6	6	0	33	33
9月	0	2	2	0	7	7
夜間	0	7	7	0	42	42
10月	0	0	0	0	0	0
夜間	0	8	8	0	42	42
11月	0	0	0	0	0	0
夜間	0	10	10	0	44	44
12月	0	0	0	0	0	0
夜間	0	9	9	0	39	39
1月	0	1	1	0	2	2
夜間	0	7	7	0	34	34
2月	0	1	1	0	2	2
夜間	1	14	15	1	58	59
3月	0	0	0	0	0	0
夜間	1	10	11	6	58	64
合計	2	115	117	7	576	583
平均	0	10	10	1	48	49

6. (利用者の声から)

- ・夜の利用者が一時期より減っている。少しさみしい。
- ・肩の痛みがなかなか取れないが、ここで色々教えてもらえるので試している。
- ・五十肩になり手が上がりにくいが、痛みは少しずつ取れてきた。
- ・マシントレーニング時、フォームの修正を行ったら、きつさが全然違い、筋肉に効いているのが分かる。
- ・災害後の利用者がかなり減少した。
- ・体重は減ったが、腹囲が少し増えた。
- ・ウォーミングアップの腰を落としてねじる動作が出来るようになった。
- ・首の痛みをとるためには、おしりの筋肉を鍛えて姿勢をよくする必要があることを知った。
- ・首の痛みがずいぶん楽になったが、まだ少し痛い。
- ・肩の可動域が広がった。
- ・臀筋に痛みがあったが、だいぶ良くなった。
- ・痩せたいと言っていた方が、痩せるだけでなく筋肉を付けたいと言われるようになった。
- ・寒さの影響か利用人数が減っているのでさみしい。
- ・ストレッチポールで体をほぐすと痛いですが、凝っている所が分かる。
- ・トレーニングだけでなく、ほぐすことも大切だと分かった。

7. (今後の課題)

- ・運動の効果により痛みが軽減している利用者が多く、今後は痛みの根本的な原因を解決できるトレーニング指導していく。
- ・利用者の目的の変化に応じてメニューや負荷の再設定を行う。
- ・日頃のトレーニングで手をつけにくい細かい部位の筋トレを促していく。
- ・トレーニングだけでなく、ストレッチの指導も十分に行う。
- ・震災の影響で運動不足になり筋力や体力が低下している利用者が多いと思われるため、運動を再開するときは様子を見ながら以前より軽めの負荷で運動をするように説明や指導を行う。
- ・減量が成功するように運動指導と並行して食事の指導も行う。

平成30年度 障害者移動支援事業 年間報告書

月	回数	合計時間	利用者数	収入金額
4月	1	2.5	1	3,650
5月	4	12.0	3	17,300
6月	4	2.0	2	3,200
7月	1	9.5	1	13,450
8月	5	26.0	3	37,050
9月	4	2.0	2	3,200
10月	4	34.5	4	48,900
11月				
12月	1	7.5	1	10,650
1月	2	1.0	1	1,600
2月	2	1.0	1	1,600
3月	3	6.5	2	9,450
合計	31	104.5	21	150,050

平成30年度 筋力トレーニング事業報告書

(第51期生 ~ 第54期生)

<目的>

高齢者や整形疾患、心疾患、脳血管疾患による後遺症等のある方を対象にトレーニングマシンを使用し、加齢に伴っての不良姿勢や不良肢位、行動制限によって生まれた不使用筋や低使用筋の強化を図り、身体機能の向上、日常生活動作の改善をめざしています。それとともに、介護予防、介護軽減、自立支援、自立保持、自立回復、さらには、生きがいの増進と社会参加促進を目的としています。

<対象者>

朝倉市在住65歳以上の人で、事業実施により運動機能の維持及び向上を図りたい方。

<人数、実施期間> …… 毎週火・金曜日の週2回 全24回×4クール

第51期生	平成30年4月3日(火)から	6月26日(火)までの3か月間
参加者	12名 (男性 2名 女性 10名)	延人数(233名)
第52期生	平成30年7月10日(火)から	9月28日(金)までの3か月間
参加者	12名 (男性 1名 女性 11名)	延人数(251名)
第53期生	平成30年10月2日(火)から	12月25日(火)までの3か月間
参加者	12名 (男性 1名 女性 11名)	延人数(226名)
第54期生	平成31年1月4日(金)から	3月26日(火)までの3か月間
参加者	12名 (男性 0名 女性 12名)	延人数(241名)
合計	48名 (男性 4名 女性 44名)	延人数(951名) 平均(237名)

<実施時間>

午後1時30分から午後3時30分まで

<実施場所>

朝倉市朝倉老人福祉センター内

<スタッフ>

- ・看護師
- ・健康運動指導士
- ・健康運動実践指導者

<事業内容>

1回目	開講式 (ADL評価・QOL評価・転倒調査)
2回目	初期評価・マシンセッティング
3～11回目	マシントレーニング
12回目	中間評価
13～23回目	マシントレーニング
24回目	閉講式 (最終評価)

<評価内容>

(運動・体力評価)

身長	
体重	
握力	筋力
開眼片足立ち	平衡性
体前屈	柔軟性
Time up & go	歩行
2分間足踏み	持久力

※ 上記の7つの項目に関して、初期、中間、最終の3回実施
 (ADL評価)
 (QOL評価)
 (転倒評価)

※ 上記の3つの評価に関して、初期、最終の2回実施

<マシントレーニング>

①ヒップアブダクション	中殿筋
②ヒップアダクション	長内転筋
③レッグエクステンション	大腿四頭筋
④レッグプレス	下腿三頭筋・大殿筋・ハムストリングス
⑤チェストプレス	大胸筋・上腕三頭筋・前鋸筋
⑥ショルダープレス	上腕二頭筋・三角筋・僧帽筋・大胸筋

※ 初回から3週目までは1～2セットで開始し、4週目以降トレーニングフォーム確認後、3セット実施

(1) 体力評価 (第51期生から第54期生平均)

	向 上	維 持	低 下
握 力 (右)	49.5%	2%	48.5%
握 力 (左)	60.7%	6.5%	32.8%
開眼片足立ち	55.4%	33.4%	11.2%
体前屈	58.5%	8.7%	32.8%
Time up & go	77.8%	0%	22.2%
2分間足踏み	71.3%	4.2%	24.5%

(2) ADL評価 …… 日常生活動作

結果においては、初期と最終時で変化はありませんでした。

(3) QOL評価 …… 生活の質

結果においては、痛み・不快感の項目で多くの方の改善が見られました。

(4) 転倒調査

転倒に対する不安も、開始時と比べると多くの方が不安を解消され、教室での下半身筋力が向上したと思われます。

(考 察)

体力評価の結果より、time up & go の項目で多くの方が初回測定時よりも記録の伸びが確認されました。これは3ヶ月間のトレーニングにより主に下肢筋力が強化され、静的バランス能力、歩行能力などが向上したことがうかがえます。静的バランス能力、歩行能力が向上したことにより転倒予防、歩行改善にも大きな効果があると考えられます。また2分間足踏みも向上されている方が多く、トレーニングを行う中で、心肺機能も向上されたことにより持久力が向上されたと考えられます。

QOL評価の結果では、「痛み・不快感」の項目で改善がみられました。これはストレッチやトレーニングを行う中で、筋肉がほぐされ、関節可動域が大きくなったこと、また、筋力が付いたことにより以前よりも身体をしっかりと支えることが出来るようになったことにより痛みや不快感の解消に繋がったと考えられます。

転倒調査の結果では、下半身の筋力アップ、正しい姿勢改善による視野範囲の向上によって、「転倒に対する不安」が半数以上の方が改善されたと考えられます。この内容については、開始時と終了時では調査結果が大きく違うので、より多くの方が筋力アップなどによる歩行バランスの改善が達成されたと考えられます。

(ま と め)

トレーニングを行うことで「体重が減った」、「O脚が改善された」、「痛くて上がらなかった腕が上がるようになった」、「身体が楽になった」等、様々な効果を実感する感想がありました。

また、体力測定での結果以上に、「気持ちが前向きになった」「動くのが億劫だったが、教室に通うことで身体が軽くなった」などの感想があり、日常生活での変化も感じられた様子でした。

また、最後の3ヶ月目には、トレーニングの一部を自分たちで決めてもらう方法を取り入れたところ、参加者の「自分から進んで運動しよう」という気持ちが強くなったと感じました。

今後の健康づくりサポート教室への参加も意欲的でした。

今回のように、教室を通しての運動の効果とともに、日常生活への影響を実感してもらい、運動に取り組む姿勢が前向きになったのはとても良かったと思います。

平成30年度 健康づくりサポート事業報告書

1. (目的)

筋力トレーニング事業修了者を対象に、これまでの筋力トレーニングを継続することで、効果の維持と向上、それとともに介護予防、自立支援、自立保持、さらには、生きがいの増進と社会参加促進を目的としています。

2. (事業内容)

エルゴメーター4台・トレッドミル4台・筋力トレーニングマシン5台を使用し、個々人の疾患や目的に合わせた運動プログラムを作成して、実地指導を行いました。

3. (場所)

朝倉市朝倉老人福祉センター内

4. (開催日時)

毎週水曜日 13時30分～17時、毎週火曜日、金曜日 9時～12時

毎週木曜日 9時～12時30分、13時30分～17時、18時～21時

5. (利用実人数・利用人数)

月	利用実人数			月	利用総人数		
	男性	女性	合計		男性	女性	合計
4月	10	53	63	4月	42	193	235
5月	9	54	63	5月	42	194	236
6月	10	51	61	6月	47	199	246
7月	11	46	57	7月	54	166	220
8月	9	43	52	8月	45	180	225
9月	10	47	57	9月	51	185	236
10月	10	58	68	10月	50	241	291
11月	10	54	64	11月	50	218	268
12月	9	44	53	12月	49	165	214
1月	12	49	61	1月	63	207	270
2月	10	52	62	2月	53	202	255
3月	10	52	62	3月	55	203	258
合計	120	603	723	合計	601	2,353	2,954
平均	10	50	60	平均	50	196	246

6. (利用者の声)

- ・エルゴを行うと膝が痛いのが楽になる。
- ・運動を継続している結果が出ているようで、身体が引き締まってきたみたい、お腹がへっこんだようだと言ってもらえるようになった。
- ・左大腿部裏にしびれと左足裏に痛みがあった方にお尻のストレッチと指圧を取り入れたところ、翌週すごく楽になったとの声を頂いた。
- ・腰や膝などに痛みがあったが、運動すると痛みが楽になってきた。

- ・寒くなってきて、膝や腰が痛むが運動をすると体がほぐれて楽になる。
- ・運動を再開して2ヶ月ほど経ったが、周りの人から姿勢が良くなったと言われて嬉しかった。
- ・家を出るまで腰が重いが、運動で汗をかくとスッキリする。
- ・ストレッチ教室で習ったセルフマッサージで足が軽くなった。
- ・ストレッチ教室で習った股関節ほぐしの運動を取り入れてから、すごく状態が良いので、継続して行っている。
- ・背中が丸まっていたのが、運動のおかげで少しずつ伸びている感じがあり、周りの人からも姿勢が良くなったと言われる。
- ・骨盤体操がとても効果があり、尿漏れ防止に繋がっている。
- ・肩周りの体操がとても気持ちよく、空いた時間で家でも行っている。
- ・膝の治療中だったが、膝の痛みを訴えたところ、トレーナーから「ちゃんと病院に行ってますか？」との声掛けを受け、運動する意欲がなくなった。

7. (今後の課題)

- ・人数が多いときに時間を持て余さないようにストレッチポール、ステップなどを有効に活用していく。
- ・痛みの軽減や姿勢の改善などで多くの利用者に効果が表れているので、今後もより多くの方が運動の目的を達成できるよう指導を行う。
- ・気温が下がり夏のように汗が出ないため、水分をあまり摂らない方が増えている様子。寒い時期の脱水症は気づかないうちに水分が失われているため、意識的に水分を取る必要性があることを説明、指導していく。
- ・様子を見ながら換気もこまめに行い、利用者へは手洗い・うがい等身近で出来る風邪対策をいつも以上に呼びかける。
- ・何気ない確認の声掛けでも利用者の運動に対する意欲をなくすこともあるので、今後は一層注意を払って声掛けや指導を行う。

平成30年度 障害者地域生活支援事業

(目的)

障がい者にとって、もっとも身近な市町村において、ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、障がい者のニーズに合った事業を実施することにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的としています。

(事業内容)

1. 自発的活動支援事業

①自発的活動支援事業

ボランティア活動での施設等の訪問時に、障がい者の社会復帰に関する活動に対して必要な援助・助言・相談を行うボランティア活動を支援する事業

相談員:介護ボランティア「青い鳥」

年間あたりの活動件数 170件

相談件数 6件

2. 意思疎通支援事業

①意思疎通支援事業

聴覚、視覚、その他の障がいのため意思疎通を図ることに支障のある障がい者等の意思疎通を支援するために手話通訳等を行う者を設置する事業

年間あたり対応日数 11日

3. 手話奉仕員養成研修事業

①手話奉仕員養成研修事業

手話奉仕員、手話通訳者の養成・研修を実施する事業

事業名	30年度実績		
	受講者数	回数	時間数
手話奉仕員養成講座(入門編)	11名	21回	42時間
手話奉仕員養成講座(基礎編)	11名	25回	50時間
手話通訳者養成講座(通訳Ⅱ)	5名	34回	68時間

4. 日常生活支援事業

①生活訓練等事業

障がい者に対して、日常生活上不可欠な訓練・指導を行う事業

事業名	30年度実績
聴覚障がい者情報教室	【9回実施】 防災講話、野外研修、健康教室など
視覚障がい者生活訓練	【11回実施】 料理教室、健康教室、歩行訓練、福祉機器学習、スマートフォン講習会など
身体障がい者生活訓練	【5回実施】 スポーツ教室、健康教室、講話
知的障がい者生活教室	【17回実施】 音楽療法教室、料理教室、レクリエーション教室、ふうせんバレー教室など

5. 社会参加支援事業

①点字・声の広報等発行事業

文字による情報入手が困難な視覚障がい者のために、音訳CDを作成し、生活上必要性の高い情報などを定期的に提供する事業

1) 広報あさくら	年 24回	} 利用者: 23名
2) 社協だより	年 6回	
3) 議会だより	年 4回	

②奉仕員養成研修事業

要約筆記奉仕員、点訳奉仕員および朗読奉仕員の養成・研修を実施する事業

事業名	30年度実績		
	受講者数	回数	時間数
要約筆記奉仕員養成講座	30年度実施なし		
点訳奉仕員養成講座	6名	3回	6時間
朗読奉仕員養成講座	12名	3回	6時間

③その他の社会参加支援事業(移送サービス事業)

車いす使用者等が利用できるリフト付き乗用車を運行する事業。運転は運転ボランティアにより行っている。

朝倉市社会福祉協議会所有のリフトカー 2台 134件

平成30年度朝倉市通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ事業)報告

	甘木本所			朝倉支所			杷木支所			合 計		
	開催回数	利用者数	平均利用者数	開催回数	利用者数	平均利用者数	開催回数	利用者数	平均利用者数	開催回数	利用者数	平均利用者数
4月	36	659	18.3	12	142	11.8	8	112	14.0	56	913	16.3
5月	37	669	18.1	13	146	11.2	8	95	11.9	58	910	15.7
6月	37	665	18.0	12	146	12.2	8	94	11.8	57	905	15.9
7月	33	564	17.1	11	128	11.6	9	107	11.9	53	799	15.1
8月	36	629	17.5	13	137	10.5	6	77	12.8	55	843	15.3
9月	37	644	17.4	12	138	11.5	8	98	12.3	57	880	15.4
10月	40	695	17.4	13	154	11.8	10	126	12.6	63	975	15.5
11月	37	658	17.8	13	153	11.8	8	96	12.0	58	907	15.6
12月	34	587	17.3	11	124	11.3	8	108	13.5	53	819	15.5
1月	33	515	15.6	11	123	11.2	8	88	11.0	52	726	14.0
2月	36	570	15.8	12	135	11.3	8	103	12.9	56	808	14.4
3月	37	617	16.7	12	131	10.9	8	109	13.6	57	857	15.0
合計	433	7,472	17.3	145	1,657	11.4	97	1,213	12.5	675	10,342	15.3
H29年度	415	7,592	18.3	139	1,608	11.6	85	1,196	14.1	639	10,396	16.3
対比	18	△ 120	△ 1.0	6	49	△ 0.2	12	17	△ 1.6	36	△ 54	△ 1.0

平成30年度朝倉市通所型介護予防普及啓発事業(外出支援サービス事業)報告

	甘木			杷木			地域送迎			合 計		
	送迎回数	利用者数	平均利用者数	送迎回数	利用者数	平均利用者数	送迎回数	利用者数	平均利用者数	送迎回数	利用者数	平均利用者数
4月	36	618	17.2	8	112	14.0	4	54	13.5	48	784	16.3
5月	37	618	16.7	8	91	11.4	8	143	17.9	53	852	16.1
6月	37	632	17.1	8	89	11.1	2	21	10.5	47	742	15.8
7月	33	525	15.9	9	97	10.8	13	224	17.2	55	846	15.4
8月	36	593	16.5	6	71	11.8	1	8	8.0	43	672	15.6
9月	37	607	16.4	8	90	11.3	9	135	15.0	54	832	15.4
10月	40	659	16.5	10	116	11.6	3	36	12.0	53	811	15.3
11月	37	620	16.8	8	88	11.0	4	50	12.5	49	758	15.5
12月	34	558	16.4	8	102	12.8	8	123	15.4	50	783	15.7
1月	33	500	15.2	8	81	10.1	0	0	0.0	41	581	14.2
2月	36	557	15.5	8	100	12.5	0	0	0.0	44	657	14.9
3月	37	576	15.6	8	106	13.3	6	97	16.2	51	779	15.3
合計	433	7,063	16.3	97	1,143	11.8	58	891	15.4	588	9,097	15.5
H29年度	415	7,212	17.4	85	1,191	14.0	86	1,314	15.3	586	9,717	16.6
対比	18	△ 149	△ 1.1	12	△ 48	△ 2.2	△ 28	△ 423	0.1	2	△ 620	△ 1.1

平成 30 年度 地域ミニデイ推進事業報告書 (1)

平成 30 年度地域ミニデイ推進事業実施状況

本年度は、新規 1ヶ所を含む、合計 120 か所でのスタートとなりました。平成 29 年の九州北部豪雨により、サロン活動をできなくなった地区がありますが、まだ再開できる状況にはなっていません。サロンの高齢化が進む中で、できる限り訪問し活動が継続できるように支援を行いました。地域によって活発に活動しているサロンがある一方で、後継者不足による、代表者の方の苦勞もうかがい知ることができました。年度途中で取下げとなったサロンが 1 か所、新規登録が 1 か所あり、3 月末時点で 120 か所となりました。

日 時	内 容
5/23(水)	サロン研修会「脳イキキセミナー」 (朝倉地域生涯学習センター) 52 名参加
5/28(月)	サロン研修会「脳イキキセミナー」 (ピーポート甘木第 4・5 学習室) 79 名参加
9/12(水)	サロン・さくら隊研修「ボランティアについて」(視聴覚室)
10/5(金)	サロン・さくら隊研修「音楽講座」(クローバープラザ)
10/18. 11/13. 11/14	サロン・さくら隊研修「いきいき健康クラブ」見学
12/21(金)	サロン・さくら隊研修「レクリエーション講座」(クローバープラザ)
2/1(金)	サロン連絡会(朝倉地域生涯学習センター) 35 名参加
2/4(月)	サロン連絡会(ピーポート甘木第 4・5 学習室) 97 名参加
3/11(月)	サロン・さくら隊研修「座談会」(ピーポート甘木第 6 学習室)

サロン推進活動実績

	30 年度					29 年度			
	計	甘木	朝倉	杷木	仮設	計	甘木	朝倉	杷木
訪問合計	139	94	7	34	4	99	69	5	25
訪問	105	75	4	22	4	58	40	2	16
さくら隊派遣	30	16	2	12	0	28	17	2	9
地区別代表者会	1	1	0	0	0	13	12	1	0
説明会・発会式	3	2	1	0	0	0	0	0	0
新規登録数	2	1			1	0	0	0	0

平成30年度 地域ミニデイ推進事業報告書 (2)

サロン地区別登録数

H30. 3月末現在

地区名	30年度 活動サロン	29年度 活動サロン	前年対比	備考
上 秋 月	10	11	-1	取下げ1ヶ所
秋 月	8	8	0	
安 川	7	7	0	
甘 木	17	16	1	新規1ヵ所
立 石	3	3	0	
馬 田	19	19	0	
福 田	8	9	-1	休会1ヶ所
蜷 城	7	7	0	
金 川	3	4	-1	取下げ1ヶ所
三 奈 木	7	7	0	
美奈宜の杜	1	1	0	
高 木	2	2	0	
朝 倉	7	7	0	
杷 木	20	21	-1	取下げ1ヶ所
頓田仮設住宅	1	0	1	新規1ヵ所
活動サロン数	120	122	-2	
登録者数	3,199	3,495	-296	

月別サロン活動実績

	登録数 (休会を除く)	開催箇所数	活動回数	活動割合	参加者数
4月	120	88	101	73%	1,497
5月	119	89	100	75%	1,551
6月	119	89	104	75%	1,545
7月	119	85	95	71%	1,448
8月	119	49	57	41%	703
9月	119	82	96	69%	1,360
10月	120	89	99	74%	1,433
11月	120	88	117	73%	1,676
12月	120	82	97	68%	1,361
H30年1月	120	78	89	65%	1,312
2月	120	87	96	73%	1,321
3月	120	95	107	79%	1,458
計	1,435	1,001	1,158	70%	16,665

平成30年度 共同募金配分金事業

1. ボランティアワーク事業

(車いすバスケット講習会)

市内の地域住民、ボランティアなどを対象に、障がい者との交流を通じて障がいについて理解や学習、ボランティア活動への推進を図る事業

日 時 : 平成 30 年 7 月 21 日(土) 9:30~12:00
場 所 : 朝倉市朝倉体育センター(大体育室 全面)
内 容 : 車いすバスケット体験
講 師 : はがくれデンジャーズ
参加者 : 17名

(車いすバドミントン講習会)

市内の地域住民、ボランティアなどを対象に、障がい者との交流を通じて障がいについて理解や学習、ボランティア活動への推進を図る事業

日 時 : 平成 31 年 2 月 16 日(土) 9:30~12:00
場 所 : 朝倉体育センター
内 容 : 車いすバドミントン体験
講 師 : 小林幸平氏(ブリヂストン)、他車いすバドミントン選手 3 名
参加者 : 27 名(小学生 8 名、中学生 3 名、高校生 8 名、一般 7 名、身体障がい者1名)

2. ボランティアスクール事業(なつやすみ手話講座)

小・中・高校生を対象とした手話講座を開催し、ろうあ者の方とふれあうことで障がいについて学ぶ事業

(甘木会場)

日 時 : 平成 30 年 7 月 25 日(水)~7 月 27 日(金) 3 日間 13:30~15:30
場 所 : ピーポート甘木 第 6 学習室
内 容 : あいさつや自己紹介など簡単な手話を学び、手話でろうあ者とのコミュニケーションを図りながら交流を行う事業
参加者 : 13 名(小学生)

(朝倉会場) …… 参加者なしのため中止

日 時 : 平成 30 年 8 月 1 日(火)~8 月 3 日(木) 3 日間 13:30~15:30
場 所 : 朝倉地域生涯学習センター AVホール
内 容 : あいさつや自己紹介など簡単な手話を学び、手話でろうあ者とのコミュニケーションを図りながら交流を行う事業

3. 朝倉市住民福祉ボランティアのつどい …… 中止(台風のため)

福祉に関する理解と啓発を行うとともに、地域で活動する市内福祉ボランティア団体の紹介及び新たなボランティアの人材発掘と育成を行う事業

日 時 : 平成 30 年 10 月 6 日(土) 13:00~15:30

場 所 : ピーポート甘木 中ホール

内 容 : 13:00~ 開会行事

13:15~ ボランティア団体活動の紹介「朝倉市ボランティア連絡協議会」

13:45~ 記念講演 栗木 剛氏

題目:「楽しくなくちゃボランティアじゃない!

~ 地域の支え合い、ネットワークづくりについて~」

15:20~ 閉会式

~15:30 終了

4. 交流クリスマス会

日頃、地域との交流が少ない在宅の障がい児・者や保護者と地域住民やボランティアとの交流を深めることにより、障がいへの理解と福祉の向上を図る事業

日 時 : 平成 30 年 12 月 23 日(日・祝) 10:00~12:00

場 所 : 「寿楽荘」

内 容 : 交流クリスマス会

・キッズケアセンター ハンドベル演奏

・かなでの会 音楽演奏

・レクリエーション

・ビンゴゲーム大会

参加者 : 73 名

参加案内団体 : ・知的障がい者生活教室参加者

・清流学園

・千代の里

・こがね園

・あゆみの会共同作業所

5. ボランティア育成事業

市民を対象に高齢者、障がい者、児童を支援する内容の各種ボランティア講座を開講し、市民ボランティアの育成を行なう事業

1) 傾聴力アップ講座 …… 実施

ボランティア活動を行ううえで必要なコミュニケーション能力を高めるために傾聴の技術を学び、地域で活動するボランティアの育成とスキルアップを目的とする事業

日 時 : 平成 30 年 7 月 5 日(木)、12 日(木) (全 2 回) 13:00~16:00

場 所 : ピーポート甘木 視聴覚室

内 容 : 1. 日常会話と傾聴の違い
2. 自分を知るワーク
3. 技法を学ぶ
4. 傾聴実習・ロールプレイ

講 師 : 特定非営利活動法人 FFAフォロワーシップ協会
理事長 福嶋 健司 氏

参加者 : 20 名

2)福祉ボランティア代表者会

ボランティア活動の啓発・普及とボランティア育成に努めるとともに生きがいづくり・仲間づくりの手助けを行い、地域福祉の向上に繋げることを目的とする事業

日 時 : 平成 30 年 9 月 12 日(月) 13:30~16:00

場 所 : ピーポート甘木 視聴覚室

内 容 : 1. 登録・助成に関する説明
2. 福祉ボランティアに関する講話 (90分)

演題「365日をこころ豊かに～いきいき暮らすためのボランティア～」

講 師 : 西九州大学院 健康福祉学部 社会福祉学科長 滝口 真 氏

参加者 : 29 名(男性 5 名、女性 24 名)

3)布の絵本制作講座

未就学児や障がいを持ったお子さんでも見て触って楽しめる布の絵本制作を行い、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに繋がるボランティア活動の啓発・育成を目的とする事業

日 時 : 平成 30 年 10 月 10 日、17 日、24 日、31 日(水) (全 4 回) 10:00~12:00

場 所 : ピーポート甘木 第 7 学習室、託児室

内 容 : 布の絵本「ちいさなまじょのぼうけん」の制作を学ぶ

講 師 : 布の絵本「ひまわり会」代表 釜堀 洋子氏 他会員の皆さん

参加者 : 15 名

4)認知症講座

認知症の基本的な知識と認知症高齢者への対応や予防・発見、早期受診の大切さを学ぶとともに高齢者への理解を深め、高齢者支援ボランティアの育成を目的とする事業

日 時 : 平成 30 年 11 月 26 日(月)13:30~15:30

場 所 : ピーポート甘木 視聴覚室

内 容 : 若年性認知症の方のDVDや認知症の方の目線から見た映像のDVDを基に認知症の人の行動や心理を疑似的に体験し、グループ毎に対応の仕方や配慮の仕方、住環境で改善すべき点について討議する

講 師 : 福岡県社会福祉協議会 県民サービス部 介護実習課 平山 晶子氏

参加者 : 27 名

平成30年度 災害ボランティアセンター運営事業

1. 災害ボランティアセンター設置運営

平成30年度は朝倉市でのセンター設置運営はなし。

2. 災害ボランティア活動

平成29年10月29日に朝倉市災害ボランティアセンター閉所後、継続ニーズや新規ニーズに対して、平成30年度もボランティア活動支援を継続して実施。

平成30年4月～平成31年3月

(新規依頼数)	16件
(活動件数)	19件
(延べ活動者数)	161名

3. 市外被災地支援活動

(市外災害ボランティアセンター運営支援)

① 広島県坂町災害たすけあいセンター(災害ボランティアセンター)

・平成30年7月28日(土)～8月2日(木) 計5日間 職員:1名

② 久留米市災害ボランティアセンター

・平成30年7月11日(水) 職員:2名
・ 12日(木) 職員:2名
・ 13日(金) 職員:2名
・ 14日(土) 職員:1名
・ 17日(火) 職員:2名
計5日間 計9名

(災害復旧支援ボランティア活動)

① 広島県安芸郡坂町 小屋浦地区

・平成30年8月4日(土) 職員:2名、市職員15名
・ 9月22日(土) 一般ボランティア:15名、職員:2名、市職員:2名
計2日間

※9月8日も予定していたが、雨天のため中止となった。

平成30年度 福岡県日常生活自立支援事業
 基幹的社協(朝倉市社会福祉協議会)管内市町村月別利用者一覧

(平成31年3月末現在)

(単位:人)

市町村	利用者数	利用者内訳				生保内数	預かり	
		認知症	知的障害	精神障害	その他	生保受給者	貸金庫	社協
朝倉市	25	17	5	3	0	6	13	25
小郡市	23	8	7	8	0	7	4	23
うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0
筑前町	6	2	1	3	0	5	6	6
東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0
大刀洗町	9	6	1	2	0	4	3	9
計	63	33	14	16	0	22	26	63

平成30年度 朝倉市地域支え合いセンター事業報告

(目的) 平成29年7月の九州北部豪雨における被災者の孤立防止等の見守りを行うとともに、日常生活上の相談支援や生活支援、住民同士の交流機会の提供、地域社会への参加促進など、被災者の対する支援を一体的に提供する体制を図る。

1. 見守り対象世帯数の推移

	当 初				平成31年3月31日現在				(増減比)
	甘木センター	朝倉センター	杷木センター	合計	甘木センター	朝倉センター	杷木センター	合計	
仮設住宅	30	7	48	85	29	7	47	83	(▲2)
みなし仮設住宅	62	38	190	290	43	28	157	228	(▲62)
公営住宅	5	12	23	40	1	5	19	25	(▲15)
自力みなし	8	13	54	75	4	0	25	29	(▲46)
在宅	204	225	163	592	119	173	90	382	(▲210)
合 計	309	295	478	1,082	196	213	338	747	(▲335)

※在宅には施設・家賃有公営住宅・民間賃貸を含む

2. 支援区分判定 (平成31年3月31日現在)

	A	B	C	D	E	X	判定数
	重点	継続支援	定期見守り	経過観察 (2ヵ月)	経過観察 (3ヵ月)	終結	
甘木センター	0	0	0	4	192	113	309
朝倉センター	0	0	1	36	176	82	295
杷木センター	0	1	20	111	206	140	478
合 計	0	1	21	151	574	335	1,082

3. 月別の活動実績

(年間延べ 甘木： 1,255 件 朝倉： 1,307 件 杷木： 3,320 件)

		仮設住宅		みなし仮設		公営住宅		自力みなし		在宅		延べ 合計	実数 合計
		延べ件数	(実数)	延べ件数	(実数)	延べ件数	(実数)	延べ件数	(実数)	延べ件数	(実数)		
4月	甘木センター	18	(12)	21	(15)	1	(1)	7	(6)	5	(5)	52	(39)
	朝倉センター	7	(6)	28	(21)	15	(11)	11	(9)	2	(2)	63	(49)
	杷木センター	1	(1)	144	(96)	33	(23)	44	(30)	6	(6)	228	(156)
5月	甘木センター	17	(14)	22	(16)	1	(1)	6	(4)	43	(38)	89	(73)
	朝倉センター	8	(7)	22	(18)	4	(3)	1	(1)	58	(56)	93	(85)
	杷木センター	16	(13)	28	(26)	1	(1)	15	(13)	161	(120)	221	(173)
6月	甘木センター	5	(5)	7	(7)	0	(0)	4	(4)	113	(86)	129	(102)
	朝倉センター	6	(5)	0	(0)	2	(2)	0	(0)	157	(151)	165	(158)
	杷木センター	42	(38)	149	(128)	2	(2)	32	(30)	100	(79)	325	(277)
7月	甘木センター	1	(1)	10	(8)	0	(0)	0	(0)	157	(109)	168	(118)
	朝倉センター	8	(7)	5	(4)	2	(2)	2	(2)	109	(86)	126	(101)
	杷木センター	57	(56)	123	(109)	12	(9)	68	(63)	19	(17)	279	(254)
8月	甘木センター	30	(27)	15	(14)	0	(0)	0	(0)	18	(17)	63	(58)
	朝倉センター	12	(7)	42	(33)	6	(6)	4	(2)	63	(48)	127	(96)
	杷木センター	87	(48)	135	(108)	14	(11)	16	(16)	72	(60)	324	(243)
9月	甘木センター	15	(12)	36	(31)	1	(1)	4	(4)	22	(20)	78	(68)
	朝倉センター	8	(7)	1	(1)	1	(1)	0	(0)	59	(57)	69	(66)
	杷木センター	36	(32)	143	(116)	16	(10)	22	(16)	84	(67)	301	(241)
10月	甘木センター	21	(16)	9	(9)	0	(0)	1	(1)	74	(67)	105	(93)
	朝倉センター	8	(6)	11	(11)	5	(3)	0	(0)	70	(68)	94	(88)
	杷木センター	50	(36)	147	(114)	13	(9)	40	(31)	133	(101)	383	(291)
11月	甘木センター	14	(12)	11	(11)	0	(0)	0	(0)	84	(77)	109	(100)
	朝倉センター	11	(7)	21	(17)	6	(4)	0	(0)	95	(77)	133	(105)
	杷木センター	53	(31)	123	(95)	7	(6)	16	(12)	117	(95)	316	(239)
12月	甘木センター	11	(8)	29	(26)	1	(1)	5	(4)	81	(71)	127	(110)
	朝倉センター	8	(6)	26	(18)	4	(4)	0	(0)	91	(71)	129	(99)
	杷木センター	31	(25)	126	(83)	10	(9)	14	(12)	52	(39)	233	(168)
1月	甘木センター	10	(9)	11	(10)	1	(1)	2	(2)	80	(56)	104	(78)
	朝倉センター	8	(6)	14	(12)	3	(2)	0	(0)	70	(62)	95	(82)
	杷木センター	49	(33)	125	(82)	7	(7)	25	(19)	38	(31)	244	(172)
2月	甘木センター	25	(16)	22	(17)	0	(0)	2	(1)	81	(56)	130	(90)
	朝倉センター	5	(5)	9	(8)	0	(0)	0	(0)	92	(77)	106	(90)
	杷木センター	22	(20)	110	(82)	10	(8)	21	(15)	74	(66)	237	(191)
3月	甘木センター	12	(5)	29	(24)	0	(0)	4	(2)	56	(48)	101	(79)
	朝倉センター	8	(6)	32	(21)	6	(4)	0	(0)	61	(50)	107	(81)
	杷木センター	46	(32)	90	(71)	10	(7)	15	(9)	68	(60)	229	(179)

平成30年度 その他自主事業

1.福祉体験学習の実施

小・中・高等学校・専門学校・その他団体に対して、車いす・アイマスクなどのハンディキャップを体験しながら学習を行う。ゲストティーチャーの幹旋などを行う事業。

内 容： 車いす体験
アイマスク体験
手話学習
点字学習
高齢者疑似体験
福祉講話等

合 計： 13校 15回

2.福祉機器等の貸出の実施

福祉機器を必要とする方に福祉機器等の貸出を行う事業。

甘木本所： 53件
朝倉支所： 9件
杷木支所： 10件

合 計： 72件

3.社会福祉援助技術実習の実施

社会福祉士をめざす実習生を受け入れ、指導を行う事業。

期 間：平成30年11月26日(月)～平成30年12月25日(火)のうち23日間

実習生：大原保育医療福祉専門学校 福祉校 (1名)